

「多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト」 コンテスト(タマリズム)への参加

外国語学部 観光交流文化学科 志村 良浩

【活動の目的】

- ・コロナ禍の長期化により、観光・宿泊業はじめ地域経済に大打撃となっている
- ・2021年春に立ち上げられた「多摩地域マイクロツーリズムプロジェクト」で、実用可能なマイクロツーリズムプランの構築から「地元の魅力を再発見する」など継続性のある地域活性化を「官民学連携」で目指す
- ・当該プロジェクトのコンテスト(タマリズム)応募により、「郊外都市型」の観光まちづくりの企画、実証実験を経て次年度以降の実現を目指す

【活動内容】

- ①プロジェクト参加のエントリー(2021年5月)
- ②第1回企画書の提出(2021年6月)
- ③第1回企画内容発表、協働連携関係者(自治体・観光協会・企業)との交流会参加(同年8月)
- ④タマリズム活動支援金審査会への参加(2021年9月)
- ⑤実証実験(フィールドワーク)(2021年10月～2022年1月)
- ⑥最終企画書の提出(2022年1月)
- ⑦公開报告会・ドラフト会議への参加(2022年2月)
- ⑧企画実現に向けた協賛企業との打ち合わせ実施(2022年3月)

【活動の成果や達成状況】

1 提案プラン

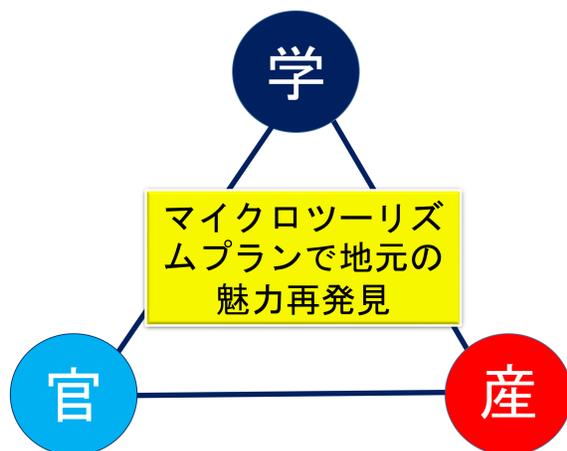
- ①テーマ : 「笑顔をここから～多摩地域フォトスタンプラリー～」
- ②内容 : 一般市民(主にファミリー層を想定)の参加者は事前に指定されたルート上のスポットを来訪・利用。各スポットにて撮影した写真をInstagramに掲載し、これを運営者側が確認することで「フォトスタンプラリー」に参加となる。また、フォトコンテスト実施により、優秀投稿者に飲食店のサービス特典を付与することで次回以降の参加を促進させ、企画の持続性・継続性を図る。
- ③コンセプト : 公共交通機関の利用促進、健康増進効果、地元飲食店の増収、神社仏閣の認知度向上
- ④モデルルート:(春)多摩エリア:京王聖蹟桜ヶ丘駅→都営桜ヶ丘公園で花見 → 近隣飲食店で食事
(秋)稲城エリア:京王稲城駅・JR長沼駅→梨園で梨狩り → 近隣飲食店で食事

2 コンテストの結果

2月の発表会にて参加企業・団体から協働オファーを受けるドラフト会議が行われ、1団体・1社からオファー獲得

3 今後の予定

次年度の実用化に向けた態勢づくりを行い、今後の協働と取り組みを継続予定



企画発表会・協働連携関係者との交流会の様子 2021年8月



フィールドワークの様子
2022年10月～12月



提案プランのプレゼン資料



活動報告会参加の様子
(Zoom参加) 2022年2月